

【地域貢献活動】野瀬町防災訓練に支援協力しました

昨年度まで【COC地域課題研究】の研究課題「地域住民の防災意識の強化」に取り組んできましたが、その成果として、今年から彦根市野瀬町に自主防災会が立ち上がりました。

昨年度に引き続き、県立大学の教員・学生、彦根市社会福祉協議会なども協力し、11月23日（木）勤労感謝の日、野瀬町自主防災会主催のもと、「防災訓練」が実施されました。

参加された住民さんたちは、県立大学の教員・学生たちの指導のもと、「救命処置法」、「応急処置法」、「車椅子体験」など熱心に取り組まれました。

さいごに、参加された住民さんたちといっしょに交流を図りながら、炊き出しの「豚汁」を美味しくいただきました。



<防災訓練の様子>

また、防災訓練後の参加者へのアンケートでは、多くの方から、「訓練後、防災への意識が高まった」「自主防災組織の強化が必要」「防災訓練は有意義」「今後も防災訓練を継続するべき」との回答が得られるとともに、このような地域活動への学生への参画に対して、「学生さんたちの指導がありがたい」との声をたくさんいただきました。一方、参加した学生たちからも、「このような活動を通して人々がつながっていくことを学んだ」「地域のつながりがみえた」などの感想が得られました。

学生たちとともに地域に根ざした活動を行う中で、引き続き地域課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思えます。

2016 COC 地域課題研究（防災）：

人間看護学部 伊丹・馬場・米田・生田・関、環境科学部 伊丹